

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス おひさまがらす

公表日 令和7年3月12日

利用児童数 令和7年2月28日 31名

回収数 23名

| | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|--|----|---------------|-----|-------|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 19 | 3 | | 1 | ・どれ位ないとダメなのか分かりにくい ・何人の生徒に何人ついているのか分からない | ・当日の療育の振り返りを連絡帳や口頭で保護者にお伝えする時に過ごした部屋や場所、人数を明確に伝える。 ・お迎え時は施設内に気軽に入って頂く |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 17 | 3 | 1 | 2 | ・職員が多くても少なくとも対応次第 | ・年度始めにクラス担当者をお知らせするだけでなく日常的に子どものグループの人数やスタッフ数を伝えて活動の場面よっての支援の度合いを伝える。 ・保護者対応や児童の直接支援の時は落ち着いた言動を心がける。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 20 | 1 | | 2 | ・見る感じではそう思う | ・構造化や支援の工夫は出来るだけ見える化した伝え方や（連絡帳に写真添付など）言語化して保護者に分かるように説明する。家庭で汎化できるよう伝える。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 18 | 2 | 1 | 2 | ・その子その子に合っているかは分からない | ・活動によって環境の工夫をする。特に調理プログラム等では、衛生面について児童にも理解しやすく伝え、保護者にも工夫した点を言葉や写真で伝える。 ・カムダウンスペースやリラクゼーションスペースや玩具など準備して写真や言葉で伝える。 ・教室内の整理整頓をして子どももスタッフも同じ片付けができるように視覚化しておく。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 19 | 3 | | 1 | 無回答：1 ・一人一人理解されているにせよ対応が違うのでは？わかりませんが | ・面談や担当者会議後は、会議で報告して支援の統一化をする。 ・定期的に専門職も含めて支援のPDCAサイクルを行う。 ・支援の内容が変わる時は、写真等も使って分かりやすく保護者に伝える。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 18 | 2 | | 3 | ・分かりません。 ・どこに公表しているのか分からない | ・自己評価表を依頼する時にホームページにて公表すると伝えているが、公表場所の閲覧の手順も丁寧に伝える。 ・公表した時点で、連絡帳などで公表済みを知らせる。 |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 21 | 1 | | 1 | 無回答：1 ・なっているけど本人にそれで分かっているかと言われる不安 | ・モニタリングの面談に児童が同席できるようにする。 ・モニタリングと計画に本人の意見を取り入れられるよう意見を聞き取る。 ・定型発達との理解や検査結果の理解を深めエビデンスに基づいた支援の共通理解に努める。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 20 | 1 | | 1 | 無回答：1 | ・ガイドラインの理解を深める。 ・目標達成までに必要なことを具体的に示す。（何をいつまでに出来るようになる） ・半年で達成できる目標設定をして「一部達成」ではなく「達成」となる様、保護者、児童と目標設定をする。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 20 | 1 | | 2 | | ・半年間の計画を1カ月等短いスパンで段階的に達成度を確認する。（達成度の見える化） ・連絡帳では支援計画に沿った内容で報告する。児童にも「何を自分は頑張ったのか」を毎回振り返りをする。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 16 | 4 | | 2 | ・買い物学習でのマックとかほっともとは頻繁にある気がする | ・児童の興味関心を理解しながら活動に取り入れる。年齢や特性に応じて内容を工夫して連絡帳で伝える。 |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 9 | 5 | 1 | 8 | ・合っているのかも分からない ・放課後児童クラブや児童館の交流はしていないと思う | ・フリータイムや土曜療育、外出プログラムでは交流が見られる。交流の姿を児童ごとに保護者に連絡帳を通じて伝える。 |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 20 | 3 | | | | ・年度末の事業所説明会で細かく説明しているが欠席者への配慮が足りなかった。面談時に資料に合わせて説明していく。 |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 21 | 2 | | | | ・半年に1回モニタリングと計画書の説明をしているが、電話面談の方には不十分であった。なぜその支援が必要なのか、いつまで必要なのか、達成した姿についてを丁寧に説明しが見通しを立てるように説明する。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 21 | | | 2 | | ・LINEやポスター掲示、案内配布などを行っているが説明が不十分だった。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 19 | 4 | | | ・教えてくれる先生もいる（その場あった時など） | ・話をする時は、まずは傾聴をして日頃から話をし易い雰囲気を作りたい。 ・スタッフ間の情報共有を小まめに行う。 |

| | | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|---|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 20 | 2 | | 1 | | ・6カ月に1回の面談だけでなく連絡帳やお迎え時などに困り感などのやり取りがしやすいようにしておく。 | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 19 | 2 | | 2 | | ・保護者や児童の困り感について理解をする。スタッフ間で情報共有する。 | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 12 | 6 | | 5 | | ・きょうだい同士の交流があっているか知らない ・保護者交流会やマルシェ等を通じて交流の場を作っているが、クラス別に交流の場も作っていく。保護者がどのような交流の場を求めているのか掴んでいく。 ・土曜療育を通して兄弟間交流が出来るようなイベントを考える。 | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 17 | 5 | 1 | | | ・仕事中にLINEで送ってきて（お風呂の練習の件）時間指定の返事をくれと言われたとき。仕事終わってケイタイ見てなにこれってなった。そうゆう事は早めに連絡とるなり前の週の午前午後でも連絡すべき。 ・電話も対面でも相談に応じることは伝えている。日程調整をさせて頂き充分に対応できるようにしている。 ・事業所からの連絡は、保護者の勤務状況などを配慮しているが電話やメールなどは特に言葉使いについて細心の配慮をする。 | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 18 | 2 | | 1 | 2 | | ・やり取りのしやすさに配慮して電話やLINE、HUGシステムでお伝えしている。保護者によって連絡時間の配慮している。視覚的な情報も使って伝えている。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 19 | | | 3 | 1 | | ・何処にいつ公表したか通知をする。閲覧の手順などを示し、気軽に閲覧できるよう説明する。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 21 | | | 1 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 15 | 1 | | 6 | 1 | | ・各マニュアルの周知説明はしていない。年度末の事業所説明会で説明をする。毎月の火災避難訓練に合わせて防犯、自然災害の訓練を行っている。訓練の内容を分かりやすく伝える。児童の姿について連絡帳を通じて知らせる。（写真添付など） |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 15 | 3 | | 4 | 1 | | ・避難訓練について定期的にお便りでお知らせする。児童の姿などをお伝えする。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 18 | 1 | | 3 | 1 | | ・各プログラムについての安全確保についてお便りで周知する。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 17 | 1 | | 4 | | 無回答：1 ・速やかな連絡が分かりません。 | ・怪我や体調不良は、複数の職員と確認後保護者に速やかに連絡をするようにしている。ケガについては写真を送信してより具体的に状態を伝えている。電話、LINEで早く連絡がつく方法をとるようにしている。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 19 | 3 | | | 1 | | ・児童の意思決定支援に配慮しながら支援をして気持ちの表出をする場面作りをする。 ・リラックスできる環境作りをする。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 18 | 4 | | | 1 | | ・児童の興味関心を理解しながら活動に取り入れる。年齢や特性に応じて内容を工夫する。 ・プログラムや課題を分かりやすくして達成感を感じられるようにする。 ・リラックスできる環境作りをする |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 17 | 3 | | 2 | 1 | | ・児童には課題の分かり易さを配慮して達成感が持てるようにし、保護者には児童の状態や汎化をする上での配慮など丁寧に伝える。 ・児童も保護者も話しやすい雰囲気作り。 ・療育の見通しが立てられるよう課題分析をして分かりやすい支援をする。 |